



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東  
 コード番号 7296 URL <http://www.fcc-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 所属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	125,855	11.1	8,558	42.4	8,364	△12.0	7,557	25.3	6,976	31.2	4,779	△67.9
27年3月期第3四半期	113,309	—	6,008	—	9,506	—	6,032	—	5,317	—	14,893	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	139.01	—
27年3月期第3四半期	105.94	—

(注) 「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に所属する四半期利益」を基に算定しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 所属する持分	親会社所有者 所属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	168,015	118,531	112,874	67.2
27年3月期	163,819	116,321	110,190	67.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20	—	20	40
28年3月期	—	20	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	20	40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 所属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	6.9	10,800	23.5	10,800	△10.8	7,700	6.5	153.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	52,644,030株	27年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,455,698株	27年3月期	2,455,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	50,188,462株	27年3月期3Q	50,188,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	3
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(7) セグメント情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、インドネシアやブラジルの二輪車市場は減速したものの、米国や中国において四輪車用クラッチの販売が堅調に推移したことにより、売上収益は125,855百万円（前年同期比11.1%増）となりました。営業利益は、減価償却費の増加に加え、生産管理システムの開発中止に伴う減損損失を計上したものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり8,558百万円（前年同期比42.4%増）となりました。税引前四半期利益は、為替差益の減少により8,364百万円（前年同期比12.0%減）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、移転価格税制に関する税還付等もあり6,976百万円（前年同期比31.2%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (二輪車用クラッチ)

インドネシアやブラジルの二輪車市場は減速したものの、インドやベトナムにおいて販売が増加したことにより、売上収益は60,942百万円（前年同期比0.2%増）となりました。営業利益は、内作費削減等の効果があったものの、ブラジルの減収影響や減損損失の影響等もあり5,908百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

#### (四輪車用クラッチ)

国内自動車販売は減速したものの、米国においてフォード、ZF/FCA向けの販売が増加したことや中国において販売が増加したことにより、売上収益は64,913百万円（前年同期比23.6%増）となりました。営業利益は、減価償却費の増加や減損損失の影響等があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり2,649百万円（前年同期は459百万円の営業損失）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

#### (日本)

国内自動車販売の低迷により、売上収益は18,258百万円（前年同期比6.2%減）となりました。営業利益は、減収影響や減損損失の影響等もあり777百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

#### (米国)

フォード、ZF/FCA向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、円安の影響もあり、売上収益は46,321百万円（前年同期比25.7%増）となりました。営業利益は、減価償却費の増加等の影響があったものの、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり1,461百万円（前年同期比387.5%増）となりました。

#### (アジア)

インドネシアの二輪車市場は減速したものの、インドやベトナムにおいて二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国において四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は59,475百万円（前年同期比9.0%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や内作費削減等の効果もあり5,555百万円（前年同期比51.3%増）となりました。

#### (その他)

ブラジルの二輪車用クラッチの販売が減少したことにより、売上収益は1,800百万円（前年同期比25.8%減）となりました。営業損失は、ブラジルの減収影響やメキシコの立上げ費用の増加により449百万円の営業損失（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び資本の状況

##### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は72,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,707百万円増加しました。これは主に棚卸資産が1,579百万円、営業債権及びその他の債権が652百万円減少したものの、現金及び現金同等物が4,163百万円増加したことによるものであります。

##### (非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は95,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,488百万円増加しました。これは主にのれん及び無形資産が1,103百万円減少したものの、有形固定資産が3,057百万円増加したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は31,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,513百万円増加しました。これは主に未払法人所得税が2,245百万円減少したものの、借入金が5,770百万円増加したことによるものであります。

(非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は18,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,526百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が758百万円増加したものの、借入金が2,429百万円減少したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は118,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,209百万円増加しました。これは主にその他の資本の構成要素が2,289百万円減少したものの、利益剰余金が4,973百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は21,720百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18,707百万円となり、前年同期に比べ9,953百万円増加しました。これは主に減価償却費及び償却費が1,664百万円増加したことや棚卸資産が3,343百万円減少したことに加え、法人所得税の還付及び還付加算金の受取額2,657百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14,422百万円となり、前年同期に比べ911百万円減少しました。これは主に無形資産の取得による支出が527百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は786百万円となり、前年同期に比べ4,020百万円減少しました。これは主に非支配持分株主からの子会社持分取得による支出が9,367百万円減少したものの、短期借入金の純増減額が3,785百万円、長期借入れによる収入が9,645百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月30日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	17,557	21,720
営業債権及びその他の債権	26,024	25,372
その他の金融資産	1,190	1,045
棚卸資産	21,073	19,494
その他の流動資産	4,599	4,521
流動資産合計	70,445	72,152
非流動資産		
有形固定資産	75,467	78,524
のれん及び無形資産	3,748	2,644
持分法で会計処理されている投資	604	568
その他の金融資産	10,175	10,281
繰延税金資産	2,638	3,100
その他の非流動資産	740	743
非流動資産合計	93,374	95,862
資産合計	163,819	168,015

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2015年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	15,103	14,498
借入金	4,271	10,042
未払法人所得税	3,090	844
その他の流動負債	5,368	5,961
流動負債合計	27,834	31,347
非流動負債		
借入金	12,139	9,709
その他の金融負債	26	28
退職給付に係る負債	1,486	1,598
引当金	36	36
繰延税金負債	5,748	6,507
その他の非流動負債	227	256
非流動負債合計	19,663	18,136
負債合計	47,498	49,484
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	95,864	100,837
自己株式	△3,408	△3,408
その他の資本の構成要素	13,558	11,269
親会社の所有者に帰属する持分合計	110,190	112,874
非支配持分	6,131	5,657
資本合計	116,321	118,531
負債及び資本合計	163,819	168,015

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
売上収益	113,309	125,855
売上原価	△96,374	△105,453
売上総利益	16,935	20,402
販売費及び一般管理費	△10,095	△10,552
その他の収益	380	424
その他の費用	△1,212	△1,715
営業利益	6,008	8,558
金融収益	3,669	684
金融費用	△31	△876
持分法による投資損益	△140	△2
税引前四半期利益	9,506	8,364
法人所得税費用	△3,473	△807
四半期利益	6,032	7,557
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,317	6,976
非支配持分	715	580
四半期利益	6,032	7,557
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	105.94	139.01
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
四半期利益	6,032	7,557
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	2	5
計	2	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	△64	103
在外営業活動体の換算差額	8,927	△2,886
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△5	△0
計	8,858	△2,783
その他の包括利益合計	8,860	△2,777
四半期包括利益	14,893	4,779
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,611	4,692
非支配持分	1,282	87
四半期包括利益	14,893	4,779

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	売却可能金融 資産の公正価 値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2014年4月1日時点の残高	4,175	4,916	92,709	△3,407	1,630	3,979
四半期利益	—	—	5,317	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	8,350	△56
四半期包括利益合計	—	—	5,317	—	8,350	△56
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△2,007	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	△4,916	△2,241	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	—	0	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△4,916	△4,248	△0	—	—
2014年12月31日時点の残高	4,175	—	93,778	△3,407	9,980	3,923

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再 測定	合計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2014年4月1日時点の残高	—	5,610	104,004	7,332	111,337
四半期利益	—	—	5,317	715	6,032
その他の包括利益	0	8,293	8,293	566	8,860
四半期包括利益合計	0	8,293	13,611	1,282	14,893
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,007	△607	△2,615
持分変動に伴う増減額	—	—	△7,158	△2,051	△9,209
その他の資本の構成要素 からの振替	△0	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	△0	△0	△9,165	△2,659	△11,824
2014年12月31日時点の残高	—	13,903	108,449	5,956	114,406

当第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動	売却可能金融
					体の換算差額	資産の公正価
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	4,175	—	95,864	△3,408	8,960	4,597
四半期利益	—	—	6,976	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,394	105
四半期包括利益合計	—	—	6,976	—	△2,394	105
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	△2,007	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素	—	—	4	—	—	—
からの振替	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△2,003	△0	—	—
2015年12月31日時点の残高	4,175	—	100,837	△3,408	6,565	4,703

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再	合計			
	測定				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2015年4月1日時点の残高	—	13,558	110,190	6,131	116,321
四半期利益	—	—	6,976	580	7,557
その他の包括利益	4	△2,284	△2,284	△493	△2,777
四半期包括利益合計	4	△2,284	4,692	87	4,779
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△2,007	△561	△2,569
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素	—	—	—	—	—
からの振替	△4	△4	—	—	—
所有者との取引額合計	△4	△4	△2,008	△561	△2,569
2015年12月31日時点の残高	—	11,269	112,874	5,657	118,531

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,506	8,364
減価償却費及び償却費	7,321	8,986
減損損失	987	1,486
金融収益及び金融費用	△434	△569
持分法による投資損益(△は益)	140	2
固定資産除売却損益(△は益)	90	36
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,220	1,122
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△219	△61
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△377	△399
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	115	210
その他	△2,234	1,654
小計	12,675	20,834
利息及び配当金の受取額	450	386
利息の支払額	△18	△189
法人所得税の支払額	△4,353	△4,980
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	—	2,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,754	18,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,782	△859
定期預金の払戻による収入	2,033	954
有形固定資産の取得による支出	△14,276	△13,904
有形固定資産の売却による収入	259	148
無形資産の取得による支出	△1,254	△727
無形資産の売却による収入	0	2
貸付けによる支出	△1,508	△116
貸付金の回収による収入	1,771	154
投資の取得による支出	△549	△40
その他	△27	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,333	△14,422
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,243	1,457
長期借入れによる収入	11,520	1,874
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△9,367	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,980	△1,983
非支配株主への配当金の支払額	△607	△561
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,807	786
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,772	5,071
現金及び現金同等物の期首残高	19,046	17,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,091	△908
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,365	21,720

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年12月31日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	60,797	52,511	113,309	—	113,309
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	60,797	52,511	113,309	—	113,309
減価償却費及び償却費	△3,100	△4,221	△7,321	—	△7,321
その他の損益	△51,229	△48,749	△99,979	—	△99,979
営業利益	6,468	△459	6,008	—	6,008
金融収益					3,669
金融費用					△31
持分法による投資損益					△140
税引前四半期利益					9,506

(注) その他の損益には、減損損失987百万円（四輪車用クラッチ987百万円）が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	60,942	64,913	125,855	—	125,855
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	60,942	64,913	125,855	—	125,855
減価償却費及び償却費	△3,519	△5,466	△8,986	—	△8,986
その他の損益	△51,514	△56,796	△108,311	—	△108,311
営業利益	5,908	2,649	8,558	—	8,558
金融収益					684
金融費用					△876
持分法による投資損益					△2
税引前四半期利益					8,364

(注) その他の損益には、減損損失1,486百万円（二輪車用クラッチ759百万円、四輪車用クラッチ726百万円）が含まれております。

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

外部顧客からの売上収益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)
	百万円	百万円
日本	15,248	13,599
米国	38,877	48,506
インドネシア	16,934	14,819
インド	13,560	15,119
その他	28,687	33,810
合計	113,309	125,855

- (注) 1. 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国ごとに分類しております。  
 2. その他の区分に属する主な国は、タイ、中国、ブラジル及びベトナムであります。